

第4回番組審議会 審議議事録

1. 開催日 平成27年6月29日(月) 18:00-19:00
2. 開催場所 タス 2F 併
3. 委員出席 委員総数 : 6名
出席委員数 : 4名
出席委員 : 番組審議委員会会長 勝見 英一郎
番組審議委員会副会長 齋藤 喜内
番組審議委員 寺嶋 宏武
番組審議委員 村田 裕子
放送事業者側出席 黒澤栄(代表取締役)
高石仁光(番組制作ディレクター)

4. 議題

- (1) 代表者挨拶
- (2) 御審議
- (3) その他

5. 議事の概要

- (1) 開会
- (2) 代表者挨拶 黒澤 栄
- (3) 御審議
 - ① 経過報告 高石仁光(番組制作ディレクター)
 - ② 番組の適正について
「おらんだのものづくり」 毎週水曜日 10時30分放送
出演者: フルーツクラブ伊佐沢 (初回放送 27年6月10日)
 - ③ 番組内容、構成、その他、全般について

6. 審議内容

①経過報告

(高石)

・前回のご審議いただいた5分コーナー「ままんま」について

①主婦層の聴きやすい時間帯に放送してはどうかというご意見について

ままんまのパーソナリティは、地元の主婦の鈴木智子さんと小林美和子さんに協力頂いている。お二人のリサーチの結果、子育て世代の母親は共稼ぎが多く6時30分から7時30分までの間、家族で食事をしたり、家事の準備をしている間にラジオを聴いている方が多いようだとのことで、6時55分(現在の放送時間)で放送している。実際に登校前の子供と一緒に聴いているという声を頂いている。今後も、小中高の親を

ターゲットとして提供していきたい。7月の番組の改編からは通勤時間帯（7時45分）に時間変更を予定している。

②女性視点の循環型の番組にならないかというご意見について

「まままんま」のコーナーについては、市内を中心にお弁当プロジェクト等を検討している。また、担当パーソナリティとリスナーのディスカッションや食育イベントも取り上げればと思っている。今日も放送したが、勸進代の塩田さんの山菜料理の紹介をさせて頂いている。地元の食材を使った郷土レシピや食育についても難しくならないように取り上げて行きたいと考えている。

③方言と訛りについて

パーソナリティの小林美和子さんは、他県から長井に嫁いできた。標準語がだんだん訛っていく様やだんだん方言を理解していく様が、地元生まれ地元育ち（寺泉出身）の鈴木智子さんの方言とのテンポのいい会話で楽しめるというご意見も頂いている。訛りが強い部分もあるが、（小林さんの）標準語をクッションとして全国放送に耐えうる放送にしていきたいと考えている。

・ラジオの有効活用について

6月12日（金）に白鷹町で65歳の女性が行方不明になった際に長井警察署から放送要請があった。18時からの生放送で呼びかけ、後日ラジオを聴いた白鷹町の方が、捜索している消防団の方に通報し、14日に無事発見された。

（塚田委員）

- ・インタビュー番組について、前回の指摘事項をすぐに取り入れ工夫している。大変、前進していると言える。これまでに感じた不慣れさ、緊張感が落ち着きすんなりと聴くことが出来る。

（寺嶋委員）

- ・パーソナリティについて、改善点への取り組みの成果が出ている。今まで以上に頑張ってもらいたい。

(谷澤委員)

- ・パーソナリティの頑張りが感じられるようになった。特に一人で番組を持つようになり聴きやすくなった。今後も研修を実施し独り立ちできるようになればよい。

(齋藤委員)

- ・パーソナリティの進歩が声の質にあらわれている。番組の構成についても同じ時間帯で流していただくと聴きやすく、また聴いてみようとなると思う。
- ・時間帯の配分と内容の組み立てをより工夫すれば、さらに聴きやすくなる。
- ・インタビュー番組については、事前の打ち合わせをしっかりと行った方が、受け側の知識が豊かになる。最初に比べると数段向上している。

(村田委員)

- ・年齢層を意識した選曲に好意が持てる。
- ・最近はパーソナリティの努力が伝わり、安心して聴くことができる。確実に進歩している。

(勝見委員長) まとめ

- ・第一回審議会の意見を迅速に取り入れていただき、結果としてあらわれている。審議会としては取り組みに対して高く評価している。

②番組の適正について

(齋藤委員)

- ・おらんだボイスというタイトルから、番組内容がわかりにくい。
- ・番組内で出演者をおらんだ人として認定しているが、おらんだ人についての具体的な説明や、打ち出し方を工夫すれば、もっとわかり易い番組になる。
- ・どのような分野で活躍されている方なのか、番組の冒頭で説明し出演者を紹介したほうが聴く側にとってはわかりやすい。
- ・話題性と共感性と季節を重視しすすめてほしい。
- ・初めて聞いた方が、オランダ人と誤認しないような短い説明などがあるとよい。
- ・5段階評価として、企画自体で4、総合として限りなく5に近い。

(谷澤委員)

- ・番組の出演者について、年間計画や選定基準などしっかり設けてほしい。

- ・みんなが、この人だといいな、出るべき人だなど思える基準を設けてほしい。
- ・5段階評価として、4.2あたり。企画がよい。

(寺嶋委員)

- ・番組自体はコミュニティラジオに非常にあった企画と感じている。
- ・番組タイトルとコンセプトがマッチしていない。
- ・市内で活躍されている方は多いのでネタ切れにならないよう続けてほしい。
- ・5段階評価として5でもよい。

(塚田委員)

- ・おらんだボイスというタイトルについて番組内容がわかりにくい。
- ・おらんだ人認定について、おらんだ人とは、市民代表なのか、おらんだラジオを代表する方なのか明確に伝わってこない。
- ・おらんだラジオが自信を持って推薦する方を紹介し、認定する番組だと理解している。
- ・全体的な内容で4~5と思っている。

(村田委員)

- ・番組タイトルから、おらんだ人認定をイメージしにくい。
- ・番組後半で出演者ご自身が、〇〇なおらんだ人ですという部分に疑問を感じる。
- ・番組コンセプトは非常に良いと思う。
- ・5段階評価として、4.8と思う。5になるように努力してほしい。

(勝見委員長) まとめ

- ・番組の企画としては非常に高い評価である。
- ・内容の改善については意見を受けて、さらに良い番組にしていきたい。
- ・番組のタイトルと内容がマッチしていないところがあるのでタイトルについて考察し適切な時期に対応できるように検討いただきたい。

③番組内容、構成、その他、全般について

(齋藤委員)

- ・ナレーションについて、言葉で伝える場合の工夫が必要。例えば、和久井さんの作品を紹介する場合に、丸い形なのか四角い形なのか、どんな色合いなのか、または価値観などのイメージしにくいものを伝える場合に感嘆をとりいれると、より伝わりやすくなり、貴重だという部分がさらに伝わってくる。
- ・担当パーソナリティについて、出演者が話している最中に内容を要約したり相槌で流

れを止めてしまう部分が聴きにくい。復唱は必要なポイントのみが良い。

- ・起承転結でいえば、今回のポイントになるような山の部分について工夫が必要。
- ・番組スタート時に出演者の紹介をする場合、一言で活動やどんな方なのかわかるように工夫してはどうか。
- ・出演者や取材先には、放送終了後も再登場などの可能性を持って進めてほしい。

(塚田委員)

- ・出演者への質問について、パーソナリティが素材や地域性・個性・歴史・背景についてもっと深くふれてほしい。芸術面や文化面での価値を伝えきれていない。
- ・もっと出演者の個性を引き出し紹介してほしい。そのための事前打ち合わせを工夫してほしい。(中田英寿の訪問のエピソードなど聞きたかった)

(寺嶋委員)

- ・出演者との事前打ち合わせをしっかり行い、質問形式に工夫が必要。
- ・個性を引き出す部分、トークを掘り下げていく部分などがあるとさら共感して聴ける。
- ・番組後半は中だるみというか、ポイントが強調されていない。
- ・場面転換時の音の切れる部分が突然話が終わったように聞こえるので、技術的な対応と工夫が必要。
- ・再放送はありがたい。仕事で聴けない方が多い時間帯なので。

(谷澤委員)

- ・事前準備や打ち合わせをする中で、25分間の構成をしっかりと作ってほしい。起承転結の流れの中で山となる部分に、面白いエピソードなど、これだけは外せないという部分をもらさずに盛り込んでいただきたい。マイルストーンではないが目指すところをポイントとしてしっかりおさえていけばさらに良くなると思う。

(村田委員)

- ・パーソナリティの落ち着いた声、軽快で知的な切り返しに好意が持てる。
- ・出演者に合わせてスタジオ収録時のマイク調整や音量などサポートが必要。
- ・パーソナリティが聞き返して復唱していただけたので逆に聞きやすかった。

(勝見委員長)

- ・個人的な感覚だが、相槌や感嘆などほとんどないほうが、想像できるので聴きやすい。どちらがいいとは言えないが、進め方の手法として取り入れていただきたい。

- ・番組の山場は、聴いている人が共感できる部分にすることが望ましい。番組内での認定コーナーでは山場をおりて、一息といった部分にいれるとよいのではないかと。
- ・出演者によっては、パーソナリティはリスナーの立場でわかり易く要約し、復唱する裁量があってもよい。
- ・番組の出演者、認定者数を紹介できるとよりわかりやすい。

(勝見委員長) まとめ

- ・出演者の個性をどのように引き出すか、なお一層の工夫をお願いしたい。
- ・事前打ち合わせや、質問の工夫、山場の設定のしかたを検討いただきたい。

7. 審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

(1) 番組編成会議（実施日：平成 27 年 2 月 27 日、平成 27 年 3 月 6 日）

収録番組の内容、構成の見直し、タイトルの変更について会議をもった。

- ・ 審議会の答申または意見内容を説明報告し、内容と構成を見直した。
- ・ 出演者の個性の引き出し方について、担当パーソナリティと構成を見直した。
- ・ 番組の山場の設定について、編集担当者と構成を見直し、改善した。

(2) 番組構成の再検討（実施日：平成 27 年 3 月 10 日より対応）

番組収録時、以下の点について改善を実施した。

- ・ 収録前、出演者との打ち合わせを十分に行った。
- ・ 収録時、個性の引き出し方、山場の作り方を改善した。
- ・ 編集時、場面転換の切れ間を修正し流れのあるつくり修正した。

(3) 番組タイトル変更（実施：平成 27 年 4 月 6 日放送分より対応）

- ・ 4 月からの番組改編に合わせ、番組タイトルを内容と合致するように変更する。

8. 審議会の意見の概要の公表

公表方法：自社ホームページへの掲載

公表内容：本議事録

公表年月日：平成 27 年 3 月 25 日

9. その他参考事項

次回の放送番組審議会日程について

- ・ 平成 27 年 4 月 20 日（月） 18 時～